



Campus Topics

## SDGs商工会議所連携

# 豆乳おから及び鋳物砂等の課題解決のための企業訪問について

本学と鳥取商工会議所工業部会とのSDGs連携事業(※)において、工業部会員であるマルサンアイ鳥取(株)と(株)松田安鐵工の課題を解決するため、2021年9月16日(木)、マルサンアイ鳥取にはヒアリング調査、松田安鐵工にはサンプリング調査に環境学部 金相烈 准教授とそのゼミ生が訪問しました。

(※)SDGs連携事業では、SDGsの取り組み推進を目的に工業部会と本学の教員及び学生が連携し、企業の環境分野における課題を解決します。そして、課題解決を通じて、本学ではSDGsの目標達成並びに学生の成長を目指します。なお、この連携事業は、本学におけるSDGs推進組織であるサステナビリティ研究所が主導して進めています。また、本学創立20周年記念事業として取り組みます。

マルサンアイ鳥取では、豆乳製造に伴う、おからの排出(年間約7,420トン)及びその処理における課題(腐りやすい、処理に伴う輸送費等)があります。当日、ゼミ生が「おからを乾燥させて処理する場合のフロー、環境負荷(燃料、電力)、経費(燃費費、電気代)」や「おからを飼料として処理する場合の現状の搬出先と距離並びに輸送における環境負荷(燃料費)」等のヒアリングを行いました。

松田安鐵工では、鋳物工場から排出される鋳物砂等(廃砂(年間約18トン))とその処分費用の課題があります。当日、ゼミ生が鋳物製造の作業工程で排出される廃砂(生砂(生土を成型したものをばらした砂)、炭酸砂(炭酸ガスで成型したものをバラした砂)、鉄砂(鋳物をグラインダーで研磨等した後の周辺の砂)、耐火物くず砂等)を100~500g程度採取(サンプリング)しました。

今後、ゼミ生は、ヒアリング結果とサンプリングした廃砂を大学に持ち帰り、課題解決のための研究材料として活用します。おからの有効利用や廃砂の処分費用の圧縮等の課題解決方法の発見が望めます。

本学は、この連携事業を含め、学生の成長を目指して、SDGsに取り組んでいきます。



▲ ヒアリング調査



▲ おから乾燥処理フロー説明



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

Campus Topics

# カーシェアリング実証事業が始まりました

2021年10月1日、「公立鳥取環境大学カーシェアリング実証事業」開始式が学内で行われました。

この事業は、本学学生の移動の利便性の向上を図るため、鳥取環境大学同窓会が本学に2台の車を配備して行う実証事業です。

同窓会は、県内でカーシェアリングを運営している智頭石油(株)と共同して2年間事業を行います。

開始式当日は、同窓会 雲坂会長、智頭石油(株) 米井社長、本学 江崎学長のあいさつの後、関係者によるテープカット、会員カード贈呈、本学学生会 川口会長ほかによる乗車デモが行われました。

カーシェアリングは、車の購入費、維持費等のコストを考えると、所有するよりも安く、気軽に車を利用することができます。

この取組が学生のキャンパスライフの充実につながる事が期待されます。



▲ 関係者によるテープカット 左から米井社長、雲坂会長、江崎学長、速藤副学長、川口会長



▲ 米井社長から雲坂会長へ会員カードを贈呈



▲ カーシェアリングチラシ



▲ 川口会長による乗車デモ